

近藤恵介 富井大裕

あっけなく明快な絵画と彫刻、 続いているわからない絵画と彫刻

執筆：佐藤美子、杉浦央子、羽生佳代（川崎市市民ミュージアム学芸員）、
成相肇（東京国立近代美術館主任研究員）、林卓行（美術批評・東京藝術大学准教授）
デザイン：戸塚泰雄（nu）
判型：A5 判変形 / 88 ページ / 並製 テキスト：日本語 / 英語（一部）



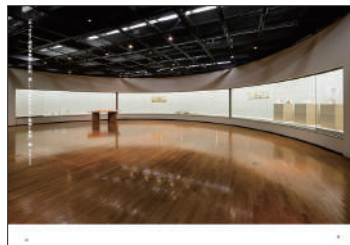
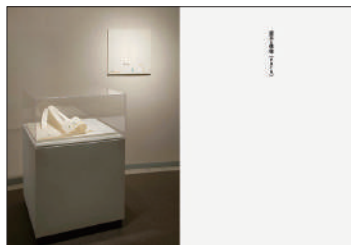
日本画家・近藤恵介と美術家・富井大裕、2人の作家により2010年に制作された共作《あっけない絵画、明快な彫刻》シリーズは、2013年に川崎市市民ミュージアムで再展示され、その後、同館に寄贈されましたが、令和元年東日本台風（2019年）によって収蔵作品7点すべてが被災しました。

現代美術の修復というあまり例のない状況を経て、2023年3月、川崎市市民ミュージアムWEB上で展覧会を開催。本書は、作品の修復過程を追いながら、以前のかたちを失ってしまった作品の新たな展開と、その経験をふまえて制作された新作、その経緯と心情の記録をまとめた一冊です。

==

==

かつて、私（たち）がしたことが、作品として、記録写真として、テキストとして残り、ときにそれらが別の関係性を結び、新たな可能性をひらくこと、そしてその事実に向き合い、考え続けた作品の被災からの3年間でした。——近藤恵介（本文より抜粋）



これを「作品」として鑑賞するか、「資料」として調査するか、「挑戦」と受け取るか。仕掛けた側としては、以前と同じく「続くもの」としたい。「現役として」問いを投げかけ続けるもの。作品はそうでなければならないと思う。——富井大裕（本文より抜粋）

==

==

展覧会「あっけなく明快な絵画と彫刻、続いているわからない絵画と彫刻」

会期：2023年3月1日（水）10:00 - 3月31日（金）15:00

会場：川崎市市民ミュージアム Web サイト内
「the 3rd Area of "C" —3つめのミュージアム—」

<https://www.kawasaki-museum.jp/thirdarea/>

会期：2023年3月9日（木） - 3月26日（日）

会場：LOKO GALLERY（東京・渋谷）

近藤 恵介 Keisuke Kondo

1981年 福岡県生まれ。2007年 東京藝術大学美術学部絵画科日本画専攻卒業。画家。
現在、佐賀大学芸術地域デザイン学部准教授。近年の主な個展に「絵画の手と手」（2022年）、
連続展形式の「卓上の絵画」（2017-2020年）など。作品集に『12ヶ月のための絵画』（2014年）。

富井 大裕 Motohiro Tomii

1973年 新潟県生まれ。1999年 美術大学大学院造形研究科彫刻コース修了。
現在、武蔵野美術大学造形学部彫刻学科教授。個展に「コンポジション - モノが持つルール -」（2018年）、
「Re construction 再構築」（2020年）、個展「線を重ねる」（2021年）、
DOMANI plus @ 愛知「まなざしのありか」（2022年）など。

▶ご注文はツバメ出版流通まで FAX: 03-3721-1922

mail: info@tsubamebook.com
TEL: 03-6715-6121 http://tsubamebook.com

貴店名(番線印)	HeHe		www.hehepress.com mail: info@hehepress.com
	注文数	返品条件付注文扱い 返品了解 ツバメ出版流通:川人	
ご担当: 様		近藤恵介 富井大裕 あっけなく明快な絵画と彫刻、続いているわからない絵画と彫刻	
		ISBN978-4-908062-51-3 C0070 定価: 本体1800円(税別)	